

こころに吹く風は…<カウンセリングルーム便り>



例年になく、短い夏休みが終わりました。今年はしみじみとゆっくり自宅で過ごす毎日を親子で楽しむことができたでしょうか。いつもより早い24日、浅間台幼稚園の園庭にも子どもたちが帰ってきました。子ども達が元気いっぱい笑顔でこれからの日々を安心安全の基地として、浅間台幼稚園で過ごせますようお願いしてやみません。改めて、人が未来を生き抜いていく上で大切なものは何なのかを、問い直してみた 夏 でしたね。

幼児期に大切な土台作り (前号の続きです)

「聞く力」と「話す力」を同時に伸ばすためには語彙力が必要となります。話しかける回数が多い母親の子は、そうでない子に比べて語彙が4倍も多くなることが海外の生後16か月～24か月の子どもの研究で判明しました。

★「聞く力」と「話す力」を幼児期に伸ばす4つのポイント

① 実況中継をしてあげる～「〇〇しているんだね。」の言葉かけを

「積木を積んでいるんだね。」「このおやつはおいしいからたくさん食べてるね。」など実況中継してあげると、より言葉に意識を向けてくれるので、言葉の力が伸びやすくなります。

② 間を取ってしゃべる～「これは何かな?」「あ、お花だね」の問いかけを

間を空けることで、脳が次にどんな言葉がくるんだろう?と予測するため、より好奇心をもって次の言葉を知りたくなる現象です。世界の文豪ゲーテの母親もこの方法を使ってゲーテを天才に育てたそうです。

③ 人に教える習慣を作る～「すごいね。どうやってやったの? 教えて」

人に教えられる子ほど学習能力も高く、「話す力」が高いことが知られています。どんな遊びでも、ママ(パパ)とやりたくて、ママ(パパ)に教えたくて、その一心で子どもたちは喜んで話すようになることでしょう。

④ 音楽を聞かせる～幼少期に音楽を聞かせると言語能力が高まります。

不思議なことに、幼少期に音楽を聴くと言語能力が高まることがわかっています。9か月の赤ちゃんに音楽に触れさせると「会話に関する脳の部位」の成長が促進されることが報告されています。音楽と言葉には共通した音のリズムがあるため、音楽で同時に言葉のリズム感が養われるのかもしれませんが、
西 剛志 (脳科学者 工学博士)

- ★ カウンセリングルームをどうぞお気軽にご予約ください。(毎週木曜日、ご予約下さい 9:00～16:00)
- ★ 一緒に子ども達の笑顔をつくっていきましょう。